



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月10日

上場取引所 東名

上場会社名 株式会社 太平製作所

コード番号 6342 URL <http://www.taihei-ss.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 神谷 慎二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 桂山 哲夫

TEL 0568-73-6411

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	1,097	△66.8	△4	—	△0	—	△6	—
28年3月期第1四半期	3,303	220.1	562	—	563	—	377	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △10百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 382百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△0.49	—
28年3月期第1四半期	28.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	6,489	3,331	51.3	248.21
28年3月期	6,877	3,396	49.4	253.03

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 3,331百万円 28年3月期 3,396百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年3月期(予想)の配当金につきましては、現時点では中間は無配、期末は未定であります。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,850	△39.6	170	△59.6	190	△55.0	105	△59.3	7.82
通期	5,600	△13.8	330	△17.0	370	△7.7	210	△5.7	15.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	15,000,000 株	28年3月期	15,000,000 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	1,576,388 株	28年3月期	1,576,388 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	13,423,612 株	28年3月期1Q	13,424,212 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、今後の様々な要因により、異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続事業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善などにより緩やかな回復基調にありましたが、中国経済をはじめとする新興国経済の景気減速感や、イギリスのEU離脱問題、テロなど地政学的リスクが懸念されるなど先行き不透明感は増しております。

当社を取り巻く事業環境は、住宅着工戸数が緩やかながらも増加していることや、各種設備投資政策の影響もあり、企業の設備投資に持ち直しの動きがみられました。

このような状況のなか、当社グループといたしましては、開発機械の市場投入を急ぐとともに積極的な営業活動に注力した結果、ほぼ計画通りの受注を獲得できましたが、前年同四半期には大型案件の売上があったことや製作期間の都合等により、売上については前年同四半期を下回りました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,097百万円（前年同四半期比66.8%減）となりました。利益につきましては、売上が減少した影響から営業損失は4百万円（前年同四半期は562百万円の営業利益）、経常損失は0百万円（前年同四半期は563百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は6百万円（前年同四半期は377百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①合板機械事業

合板機械事業は、積極的な営業活動や環境に配慮した新しい機械を市場に投入するなど努力いたしましたが、前年同四半期に大型案件の売上を計上した事や、制作に納期を要する機械が多いことなどから、当第1四半期連結累計期間の売上高は681百万円（前年同四半期比70.9%減）となりました。営業損失につきましては、売上が減少した影響もあり、10百万円（前年同四半期は356百万円の営業利益）となりました。

②木工機械事業

木工機械事業は、積極的な営業活動により計画通りに推移いたしましたが、前年同四半期に大型案件の売上を計上したことから、前年同四半期と比較し減収減益となりました。結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は185百万円（前年同四半期比73.0%減）となりました。営業利益につきましては、材料費及び外注費をはじめとする製造コスト削減に努力しましたが、売上が減少した影響もあり、29百万円（前年同四半期比87.1%減）となりました。

③住宅建材事業

住宅建材事業は、住宅着工戸数に持ち直しの動きが徐々に見え始めておりますが、戸建て住宅の着工戸数は依然伸び悩んでおり、受注競争が激しい状況となっております。この様な状況の中、営業エリアを拡大するなど積極的な営業活動と受注確保に努めた結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は230百万円（前年同四半期比16.6%減）となりました。営業利益につきましては、徹底した原価管理を行うなどコスト管理を徹底しましたが、売上が減少したことにより、9百万円（前年同四半期比18.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて7.2%減少し、4,473百万円となりました。これは主に、現金及び預金が240百万円減少、受取手形及び売掛金が163百万円減少、仕掛品が58百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.0%減少し、2,015百万円となりました。これは主に、有形固定資産が20百万円減少、投資その他の資産が16百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて5.6%減少し、6,489百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて9.8%減少し、2,747百万円となりました。これは主に、前受金が203百万円減少、未払法人税等が115百万円減少、支払手形及び買掛金が66百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて5.9%減少し、410百万円となりました。これは主に、退職給付に係る負債が10百万円減少、その他に含まれるリース債務が13百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて9.3%減少し、3,157百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.9%減少し、3,331百万円となりました。これは、利益剰余金が60百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月13日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び連結業績予想に変更はありません。

なお、連結業績予想につきましては、当社グループが現時点において入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後の様々な要因により、異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第1四半期連結累計期間の連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,506,420	2,266,189
受取手形及び売掛金	978,034	814,384
仕掛品	1,040,075	1,098,225
原材料及び貯蔵品	196,212	202,610
その他	105,666	97,295
貸倒引当金	△5,970	△4,885
流動資産合計	4,820,438	4,473,820
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	626,449	621,225
土地	689,746	689,746
その他(純額)	268,893	253,934
有形固定資産合計	1,585,089	1,564,907
無形固定資産	51,679	47,105
投資その他の資産		
その他	427,685	411,017
貸倒引当金	△7,433	△7,433
投資その他の資産合計	420,252	403,583
固定資産合計	2,057,020	2,015,597
資産合計	6,877,459	6,489,417
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	807,155	873,917
短期借入金	650,000	650,000
未払法人税等	120,808	5,405
賞与引当金	83,763	69,545
役員賞与引当金	26,000	7,125
前受金	1,121,944	918,111
その他	235,296	223,303
流動負債合計	3,044,968	2,747,409
固定負債		
繰延税金負債	80,185	79,057
役員退職慰労引当金	13,251	13,538
退職給付に係る負債	157,466	147,014
その他	184,996	170,473
固定負債合計	435,898	410,083
負債合計	3,480,867	3,157,492

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	77,201	77,201
利益剰余金	2,762,141	2,701,798
自己株式	△205,810	△205,810
株主資本合計	3,383,531	3,323,188
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,060	8,736
その他の包括利益累計額合計	13,060	8,736
純資産合計	3,396,592	3,331,925
負債純資産合計	6,877,459	6,489,417

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	3,303,493	1,097,568
売上原価	2,550,572	916,069
売上総利益	752,921	181,498
販売費及び一般管理費	189,965	185,819
営業利益又は営業損失(△)	562,956	△4,321
営業外収益		
受取利息	72	73
受取配当金	1,718	1,820
鉄屑売却収入	668	467
保険解約返戻金	—	2,074
その他	667	954
営業外収益合計	3,127	5,391
営業外費用		
支払利息	2,600	1,527
その他	—	46
営業外費用合計	2,600	1,573
経常利益又は経常損失(△)	563,482	△503
特別損失		
投資有価証券評価損	—	11,275
特別損失合計	—	11,275
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	563,482	△11,779
法人税、住民税及び事業税	169,461	2,594
法人税等調整額	16,907	△7,725
法人税等合計	186,368	△5,130
四半期純利益又は四半期純損失(△)	377,113	△6,648
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	377,113	△6,648

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	377,113	△6,648
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,251	△4,324
その他の包括利益合計	5,251	△4,324
四半期包括利益	382,365	△10,972
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	382,365	△10,972

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	合板機械事業	木工機械事業	住宅建材事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	2,339,168	687,846	276,478	3,303,493
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,339,168	687,846	276,478	3,303,493
セグメント利益	356,741	224,668	12,162	593,572

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	593,572
全社費用(注)	△30,615
四半期連結損益計算書の営業利益	562,956

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	合板機械事業	木工機械事業	住宅建材事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	681,483	185,584	230,499	1,097,568
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	681,483	185,584	230,499	1,097,568
セグメント利益又は損失(△)	△10,792	29,022	9,905	28,135

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	28,135
未実現利益の消去	104
全社費用(注)	△32,561
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△4,321

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。